



平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業

「古典の日」記念

平家琵琶で親しむ

『平家物語』

—滅びと祈りの語り—



平成28年11月1日(火)

午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

会場◆徳川園ガーデンホール

参加費◆無料(徳川園の入園料が別途必要)

主催 名古屋文化遺産活用実行委員会 名古屋市蓬左文庫
共催 一般社団法人荻野検校顕彰会 徳川美術館

参加方法

定員 120名(申込み多数の場合は抽選)

応募方法

往復はがきに、氏名・住所・電話番号・
参加人数(1枚2人まで)を明記の上、
名古屋市蓬左文庫にお送りください。
なお、未就学児の参加はご遠慮ください。

締め切り 10月17日(月)必着

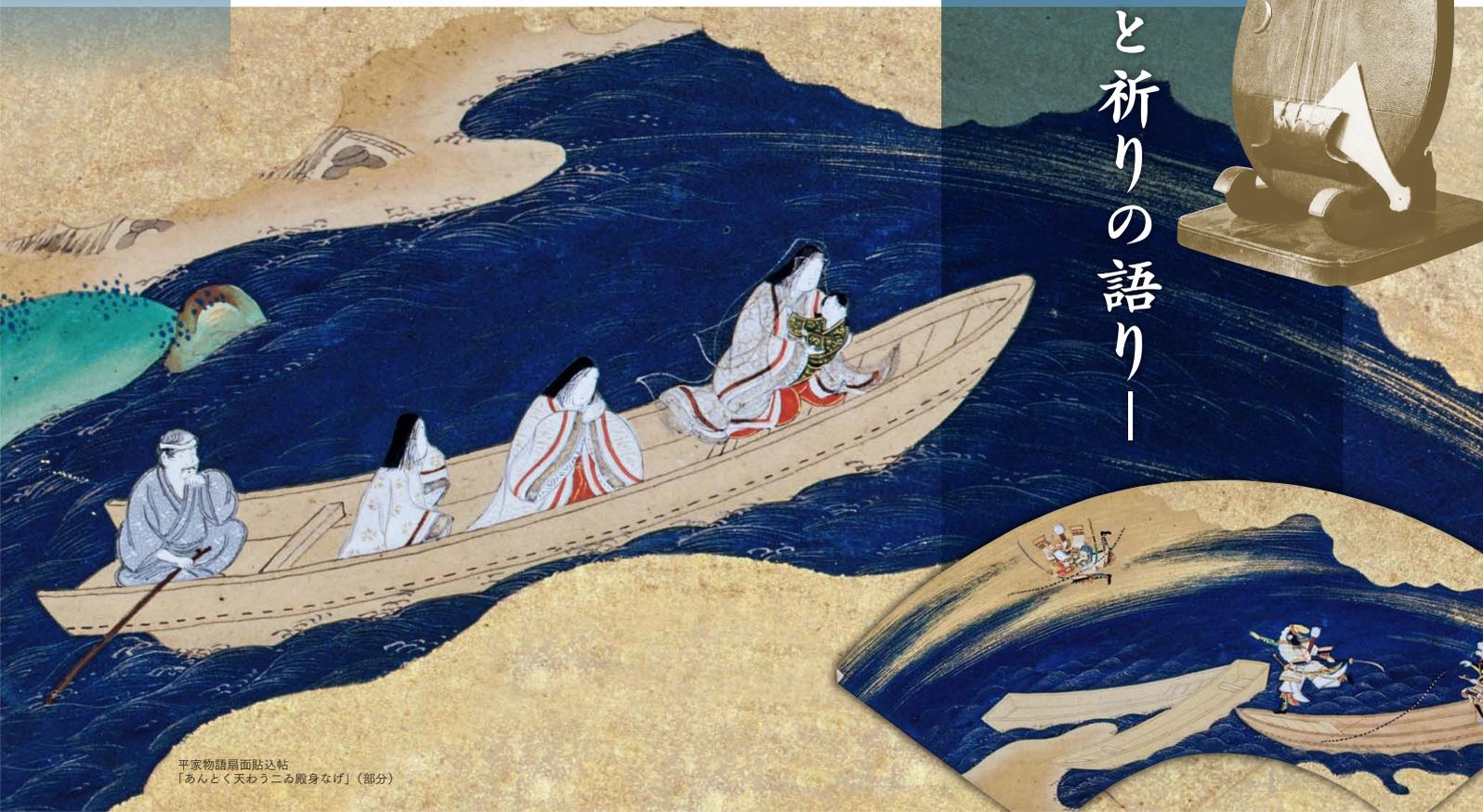
申込およびお問い合わせ先

名古屋市蓬左文庫

〒461-0023
名古屋市東区徳川町1001
電話 052(935)2173
FAX 052(935)2174

内容

平曲「先帝御入水」
朗読「六道の沙汰」



平家物語扇面貼込帖
「あんとか天わう二る殿身なげ」(部分)

11月1日(火) 午後2時～3時30分

「古典の日」記念

平家琵琶で親しむ

平家物語

―滅びと祈りの語り―

事前申込が必要です。

11月1日は「古典の日」です。
平成24年9月、「古典の日に関する法律」が制定され、古典に親しんでいただけるよう、11月1日を古典の日とすることが定められました。【紫式部日記】の寛弘5年(1008)11月1日の記述に、日本を代表する古典文学である源氏物語が歴史上はじめて記録されたものであることを根拠としています。

『平家物語』は、武門平家の栄枯盛衰を描いた哀感あふれる名作です。通常は文学作品として読まれています。もとは琵琶法師が語り継いできた伝承芸能でした。つまり亡き魂を慰める目的で演奏され、それを耳で聞く形で流布してきたのです。

琵琶の音色に乗せて「平家」が語られるという雅な伝統芸能の世界へご案内いたします。また、リズム感のある『平家物語』の原文を、朗読によってお楽しみください。

平曲「先帝御入水」

平家は壇ノ浦の戦いにて武運が尽き、二位の尼は幼い安徳天皇を抱いて入水します。「悲きかな 無常の春の風 忽に花の御姿を散し 情なきかな 分断の荒き浪 玉体をしつめ奉つる」

◆前田流平家詞曲相伝 大野美子

原文朗読「六道の沙汰」

壇ノ浦での入水が叶わなかった建礼門院は出家します。小原の寂光院で幼帝と一門の御霊を弔う日々。自らの人生を振り返り、仏教の世界観である六道になぞらえて、法皇に語ります。

◆古典朗読「恵笙会」主宰 紫堂恵

平曲と平家物語の解説

◆名古屋女子大学教授 林和利

(平曲・朗読ともに「尾崎家本『平家正節』」による)

蓬左文庫・徳川美術館展示室

9月15日(木)～11月6日(日) 特別展

ザ・ベスト@トクガワ



銀溜白糸威具足 徳川義直着用



重文 太平聖恵方

11月9日(水)

～12月14日(水)

企画展

やまと絵

うるわし

11月19日(土)～27日(日)

特別公開
国宝 源氏物語絵巻
関屋・絵合・東屋(一)



重文 掃墨物語絵巻(部分)

蓬左文庫エントランスホール

11月1日(火)

～6日(日)

蓬左文庫古書市

江戸時代の和本から現代の本まで、歴史・美術書を中心に古書の販売会を開催します。入場無料。

協力：名古屋古書籍商業協同組合



昨年度の様子

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)

休館／月曜日(祝日の時は直後の平日)

観覧料／蓬左文庫・徳川美術館共通

一般 1200円、高・大生 700円、小・中生 500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引

※毎週土曜日は小・中・高生入館無料

蓬左文庫

TEL(052)935-2173
名古屋市中区徳川町1001
http://housa.city.nagoya.jp/

徳川美術館

TEL(052)935-6262
名古屋市中区徳川町1017
http://www.tokugawa-art-museum.jp/

- 基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- メーグル「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車
- JR中央本線「大曾根」駅下車
南口より徒歩10分

